

弱きを助け強きをくじく
任侠に生きる女
「清水次郎長伝 お民の度胸」

浪曲師 **玉川奈々福**
曲師 **沢村美舟**



女 浪曲 VS 浄瑠璃
女の情念

2022
2/6
(日)

15:30～17:00

前売券 2,000円 (当日券は500円増し)

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184 Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

主催 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

焦がれ焦がれたその人を
一途に想う女「生写朝顔日記」

三味線 **鶴澤友勇**
太夫 **竹本友和嘉**



「語り芸」の魅力に迫る！

琵琶法師の語る平家物語から浄瑠璃、講談、落語そして浪曲など、日本には「語りもの」と言われるジャンルの音楽が数多くあります。リズムやメロディよりも物語を語り、登場人物の心情や性根を表現することに重点を置く音楽です。江戸時代に生まれた義太夫節浄瑠璃と明治の初めにできた浪曲と、時代による違いや、時代が変わっても変わらないもの、二つの芸を知ることで、目から鱗の語り芸の世界がもっと身近になるといいます。



玉川奈々福 たまがわななふく 浪曲師

神奈川県横浜市出身。1994年10月、日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995年7月、二代目玉川福太郎に入門。三味線の修行をしていたが、師の勧めにより、2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回をプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア・スロベニア・オーストリア・ハンガリー・ポーランド・キルギス・ウズベキスタンの七か国で公演を行う。その後、中国・韓国でも公演。第11回伊丹十三賞受賞。



竹本友和嘉 たけもとともわか 太夫

豊澤町子に師事し、昭和51年初舞台。平成8年鶴澤友路師匠（人間国宝）に入門し、平成9年竹本友和嘉を名乗る。東京国立劇場の「阿波の芸能」人形浄瑠璃公演をはじめ、国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演するほか、数多くの海外公演にも参加。また小中学校対象の「義太夫節のワークショップ」をはじめ、十郎兵衛屋敷での義太夫教室や阿波路会を開催している。平成14年に人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成21年には人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞、平成29年にとくしま芸術文化奨励賞を受賞。重要無形文化財（総合認定）保持者。



鶴澤友勇 つるざわともゆう 三味線

昭和53年に鶴澤友路師（人間国宝）に入門し、昭和60年に淡路人形座に入座。同年、鶴澤友勇を名乗る。数多くの海外公演にも参加。また国立劇場、京都造形芸術大学「春秋座」、義太夫保存会が主催する女流義太夫演奏会などへの出演、阿波路会の開催、小中学校対象の「義太夫節三味線のワークショップ」や、南あわじ市立三原中学校郷土芸能部の太夫、三味線の指導など幅広く活躍している。平成12年には人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成25年には第33回伝統文化ポーラ賞を受賞。重要無形文化財（総合認定）保持者。



沢村美舟 さわむらみふね 曲師

1989年、千葉県生まれ。國學院大學文学研究科修了。2015年5月に日本浪曲協会主催の三味線教室に通い、その翌月に名曲師・沢村豊子に弟子入り。2016年4月、浅草の木馬亭にて初舞台。

プログラム

- 15:00～ トーク「浪曲と浄瑠璃」（玉川奈々福、沢村美舟、竹本友和嘉、鶴澤友勇）
- 15:20～ 義太夫節浄瑠璃「生写朝顔日記」（竹本友和嘉、鶴澤友勇）
- 15:40～ 浪曲を100倍楽しむ方法（玉川奈々福）
- 15:50～ 浪曲「清水次郎長伝 お民の度胸」（玉川奈々福、沢村美舟）

チケット販売・予約

販売所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

ご予約：前日までに電話またはファックス、メールにて、ご予約いただけます。

Tel.088-665-2202, Fax.088-665-3683, メール awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp